活性化推進小委員会　行事報告

令和８年度　九州地区ダム見学会　開催報告

一般社団法人ダム工学会　企画運営委員会
活性化推進小委員会　九州地区連絡会　幹事

ダム工学会九州地区連絡会では、今年度で21回目となるダム見学会を、令和８年９月18日（金）に「本明川ダム」にて開催し、無事終了しましたので、ご報告いたします。

1.はじめに

ダム工学会九州地区連絡会では、一般・学生の方々、ダム技術者・研究者およびダムファンに、ダム現場見学や講演会の場を提供することにより、ダムに関する基礎知識や情報を社会に広く適切に伝え、ダムに親しんでもらえるようにとの思いから本見学会を始めました。

本年度は、長崎県の「本明川ダム」において現場見学会を開催しました。盛況のうちに無事終えることができましたので、以下に実施概要をご報告いたします。

ダム工学会主催
「本明川ダム」
ダム現場見学会のお知らせ

ダム工学会九州地区連絡会では、今年で 21 回目となるダム現場見学会を、今年度は本明川ダムにて開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

本明川ダムは、洪水調節および流水の正常な機能の維持を目的として整備が進められている事業であり、現地ではダム本体工事が段階的に進められています。本見学会では、事業の目的や工事概要について説明を受けたうえで、実際の施工状況を見学し、ダム建設における工夫や現場の取組について理解を深める機会とします。

普段は立ち入る機会の少ないダム建設現場を直接見学できる貴重な機会であり、ダムに関心をお持ちの方はもちろん、河川・防災・インフラ整備に興味のある方にとっても有意義な内容となることを期待しております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2.概要

● **見学日時および見学場所**

開 催 日：令和８年９月 18 日（金曜日）

● **参 加 者** ：25 名

開催日	学生	一般	民間	計
９月 18 日（金）	１名	３名	21 名	25 名

● **見学会プログラム**

当日の行程		
時刻	行程	備考
09:00	博多駅集合	9:05～出発
09:05-11:05	移動（博多駅 → 食事場所）	シャトルバス 1 台での移動
11:05-12:00	昼食休憩	レストランいとうにて昼食 【1 人 1000 円徴収させていただきます。】
12:00-12:45	移動（食事場所 → 諫早駅 → 本明川ダム）	12:30 諫早駅出発 12:45～見学準備
13:00-13:20	JV 事務所にて工事概要説明	現在の工事内容の説明
13:20-13:40	左岸天端からの全景展望・ グラウト仮設備見学	
13:40-13:50	左岸付替県道から広報館へ移動（バス）	
13:50-14:30	広報館見学・説明	
14:30-14:40	広報館から右岸天端見学所へ移動	
14:40-14:55	右岸天端見学所から現場全体を見学	左岸天端からは確認できない仮設備ヤードを含め、現場全体を確認しながら補足説明
14:55-15:25	ダム本体河床部の現場見学	天候および足元の状況に応じて見学範囲を調整
15:25-15:40	質疑応答・写真撮影	見学内容の確認
15:40-15:50	バス乗車・出発準備	
15:50-18:00	移動（本明川ダム → 諫早駅 → 博多駅）	
18:00	解散	

3.昼食

本明川ダム見学前に、本明川ダム周辺にある「レストランいとう」で昼食をとりました。

当日は、参加者 1 人当たり 1,000 円の予算で、お店にお任せする形で料理をご用意いただきました。複数の料理が盛り付けられ、参加者は昼食をとりながら交流を深めました。

また、大型バスの駐車が可能で、団体での利用にも対応いただけたことから、現場見学会の昼食会場として円滑に利用することができました。

【料理と店内での様子】

4.本明川ダム見学

(1) JV 事務所にて工事概要説明

昼食後、本明川ダム JV 工事事務所へ移動しました。まず、施工者様より本明川ダムの工事概要について説明を受け、その後、本明川ダム建設に関する映像を視聴しました。

説明では、本明川流域は三方を海に囲まれ、北東部には多良山系が位置することから集中豪雨が発生しやすい気象条件にあること、さらに、多良山系の急峻な山麓を流下する本明川が複数の支川と合流しながら南下するため、河川勾配が急で流出が速い一方、勾配が緩やかとなる諫早市街地付近では水位が上昇しやすい地形的特徴を有していることについて紹介いただきました。

また、過去に発生した諫早大水害では甚大な被害が生じたほか、渇水による農業被害や魚類の生育・生息環境への影響も度々発生していることから、本明川ダムが治水および利水の両面において重要な役割を担う事業であることを学びました。これらの説明を通じて、本明川ダム建設に至る経緯や事業の必要性について理解を深めることができました。

本明川ダムは、河床砂礫や掘削ズリなどの現地発生材にセメントと水を添加し混合した CSG（Cemented Sand and Gravel）を用いて築造する「台形 CSG ダム」として計画されています。CSG 材を台形状に盛り立てて構築することで、現地材料を有効活用しながら経済性や環境性にも配慮したダム形式であることを学びました。

併せて、JV 事務所内の見学も行いました。事務所は「ウエルネス作業所」として整備されており、執務環境や休憩スペースの充実、コミュニケーションの活性化など、働く人の健康や快適性に配慮した職場環境づくりが実践されていました。従来の現場事務所のイメージとは異なり、明るく開放的で働きやすい空間が整備されており、生産性向上や担い手確保につながる先進的な取組であると感じました。

【JV 事務所】

【JV 事務所】

【JV 事務所】

【施工者様より工事概要説明】

⑵広報館見学

JV 事務所での工事概要説明後、本明川ダム広報館へ移動しました。広報館ではスタッフの皆様より、本明川ダムの役割や事業概要について、動画や模型を用いて分かりやすく説明していただきました。動画では、本明川流域が抱える治水上の課題やダム建設の目的が紹介されており、本明川ダム事業への理解をより深めることができました。

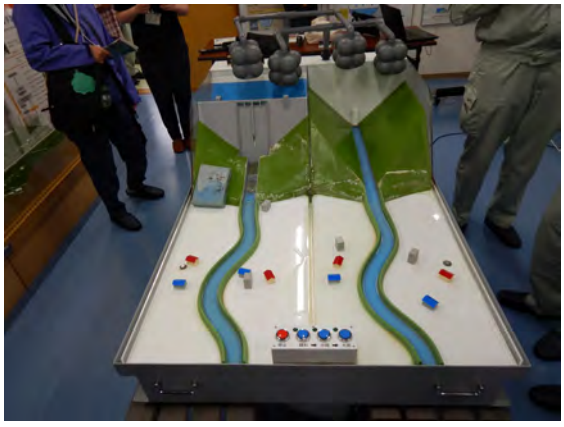
また、広報館内にはダムがある場合とない場合の状況を再現した模型が設置されており、実際に水を流しながら洪水時の下流への影響を比較して説明いただきました。ダムの有無による治水効果を視覚的に確認することができ、本明川ダムが地域の安全・安心の確保に果たす役割を実感することができました。

その他にも、ダム本体や周辺地形を再現した模型、ダム建設に関するポスターなどが展示されており、ダムの構造や完成後の姿を視覚的に学ぶことができました。さらに、「本明川ダムカード」の配布や、QR コードを読み取ることでオリジナルの記念写真を撮影できるデジタルフォトフレーム、ダムカレンダーの配布なども行われており、多くの方にダム事業への関心を持ってもらうための工夫が随所に見られました。

展示内容は専門知識のない方にも理解しやすく工夫されており、子どもから大人まで楽しみながら学べる施設であると感じました。また、地域住民への情報発信やダム事業への理解促進に大きく貢献している施設であり、広報活動の重要性について改めて認識することができました。来館者がダム事業をより身近に感じられるよう様々な工夫がなされており、地域との良好な関係構築にも寄与しているものと感じました。

【本明川ダム広報館】

【広報館スタッフによる説明】


【本明川ダムのシミュレーション模型】

【デジタルフォトフレーム写真】

⑶本明川ダム現場見学

日特建設様より、カーテングラウチングで使用するミキシングプラントについて説明をいただきました。ミキシングプラントでは、グラウト材となるセメントミルクの品質を確保するため、一度小型ホッパーを経由して材料を精密に計量するなどの工夫が行われており、施工品質の確保に向けた取組について学ぶことができました。また、安定した品質のセメントミルクを効率的に製造するための設備構成や管理方法についても説明いただき、ダム基礎の遮水性能を確保する上で重要なカーテングラウチング工を支える施設であることを理解することができました。

その後、左岸天端および右岸天端から工事現場全景を見学しました。施工者様より、説明パネルを用いながら本明川ダムの現在の施工状況について説明いただきました。また、一次転流および今後実施される二次転流の計画や、基礎掘削の進捗状況、掘削ズリの有効活用計画などについても説明いただき、ダム建設事業全体の流れや規模の大きさを実感することができました。

また、通常では立ち入る機会の少ない工事現場内の河床部についても、今回は特別に見学させていただきました。現地では、台形 CSG ダムの基礎岩盤の掘削状況や地質状況、今後の施工工程について詳しく説明を受け、実際の施工状況を間近で確認することができました。

今回の見学を通じて、台形 CSG ダム特有の施工方法や現場における品質管理の重要性について学ぶことができました。また、実際の施工現場を間近で見学することで、ダム建設に携わる技術者の創意工夫や努力を感じることができ、非常に貴重で有意義な経験となりました。

【ミキシングプラント見学】

【左岸天端から全景見学】

【右岸天端から全景見学】

【工事概要説明】

5.アンケート集計結果

今年度のダム見学会では、参加者を対象にご意見・ご感想についてのアンケートを実施しました。

その結果、見学内容や運営について好意的なご意見をいただき、ダムへの理解や関心を深めていただく機会となりました。アンケート結果を以下に示します。

今後は、今回いただいたご意見を踏まえ、見学内容のさらなる充実を図るとともに、昼食会場についてもダムや地域の特色に関連した施設を選定するなど、見学会全体を通してダムへの理解や親しみを深められるよう工夫してまいります。また、自己紹介や意見交換の時間を設けることで、参加者同士の交流を促進し、より有意義な見学会となるよう取り組んでまいります。

来年度以降も、ダムに関する基礎知識や情報を社会に広く分かりやすく伝えるとともに、多くの方にダムへの関心と親しみを持っていただける機会を提供し、ダムファンの拡大につなげてまいります。

◎令和8年度 ﾀﾞﾑ工学会九州地区連絡会 本明川 ﾀﾞﾑ
ダム見学会 ｱﾝｹｰﾄ集計結果
2026年9月18日（金）

回答数：16/25

所属

大学	官公庁	民間	一般	合計	
1	0	12	3	16	（人）

1．ダム工学会をご存じでしたか（a．知っている　b．知らない）

	a.	b.	合計	
集計結果	14	2	16	（人）

2．本日のダム見学会について

① 参加人数はどうでしたか　（a．多い　b．少ない　c．概ね良い）

	a.	b.	c.	合計	
集計結果	0	0	16	16	（人）

② ダム見学会の時間配分について（a．長い　b．短い　c．概ね良い）

	a.	b.	c.	合計	
集計結果	0	1	15	16	（人）

③ ダム見学会の移動時間について（a．長い　b．短い　c．概ね良い）

	a.	b.	c.	合計	
集計結果	0	1	15	16	（人）

④ 本日のダム見学会全般について（a．良い　b．普通　c．良くない）

	a.	b.	c.	合計	
集計結果	15	1	0	16	（人）

3．今後このようなイベントがあれば参加したいですか（a．参加したい　b．参加しない）

	a.	b.	合計	
集計結果	16	0	16	（人）

4. 広報館見学のご意見・ご感想をお聞かせください

No.1	丁寧に説明いただきわかりやすかったです。
No.2	この地のダムの歴史がよくわかりました 流水試験はたいへんよかったです
No.3	綺麗でした。
No.4	地元の方、発注者の方が入り、なかなか良かったです。 地域で協力体制が整っており、まとまっている感じがありました。
No.5	水理模型がダムの効果がわかりやすくて良いと感じた。
No.6	模型など視覚的にわかりやすく説明してもらえたので理解が深まった。
No.7	ベテランの方と若手の国土交通省職員さんの丁寧なご説明で理解が容易でした。
No.8	地元の方の話が聞けて良かった。模型も分かり易かった。
No.9	地元の方の話が聞けて良かった。 模型が分かり易かった。
No.10	実験装置や地元との調整が良くわかり、一般の人にも興味のわくものでした。
No.11	地元住民との交渉の歴史などがよく分かる展示でした。
No.12	良かったですが一部JV事務所での説明と重複する内容があったのでそこは省いていただいた方がいいかと。
No.13	ここが台形CSGダムの建設現場なんだと、改めて思い出す事が出来ました！ CSGの意味など理解できて良かったです。 ダム模型の洪水調節の仕組みなど、good-jobでした。(^^)
No.14	分かりやすい説明でした
No.15	丁寧な説明でわかりやすかった。
No.16	動画での説明や、模型を使っての説明もあり、わかりやすかったです。

5. 本明川ダム現場見学のご意見・ご感想をお聞かせください

No.1	普段見ることのできない現場を見学できて良かったです。
No.2	亀裂のない岩盤でのダムの施工の意味がよくわかりました
No.3	台形csgの現場に行く機会がないので、勉強になりました。
No.4	ダムマニアを含めて、一般の方がもっと参加してもらえると良い
No.5	台形CSGダムの基礎岩盤を間近で見ることができて、非常に勉強になりました。
No.6	勉強することが多く、最近ダムの施工現場が少なくなっていることから、貴重な現場を見学できてよかった。
No.7	基礎岩盤が間近に確認できたことに加えて、JVさんのご説明が端的かつ明瞭で頭が整理できました。
No.8	現場事務所が素晴らしかった。環境に配慮がされていた。
No.9	現場事務所が素晴らしかった。
No.10	現場の工事段階で、普通見ることのできない基礎掘削の見学や施工中の課題の話も聞けて大変参考になりました。
No.11	住宅に近い現場ならではの工夫や地盤状況についてなど、直接聞かなければ分からない情報を知ることができ良かったです。
No.12	ご面倒でしょうにバスでの移動を何回もしてくださり隅々まで見学出来て有意義な見学会でした。ありがとうございました！
No.13	1～2年ごとに、またマイカーで訪問してみようと思います。 ＊ 約1年半前に初訪問してました。 地域はチョイと違うのですが、石木ダムも無事に建設される事を願っております。 見学会の開催、ありがとうございました！そしてお疲れ様でした。m(_)m
No.14	分かりやすい説明でした
No.15	堤体のCSG打設が始まったら再度来てみたい。
No.16	普段見ることのできない施行中のダム現場を拝見でき、とても勉強になりました。 今後工事が進んでいくにつれ、色々な構造物が出来ていく様子もまた機会があれば拝見したいなと思います。 事務所もとても素敵でした。

6. 自由意見（どのような意見でも結構ですのでお願いいたします）

No.1	貴重な経験をありがとうございました。
No.2	長崎のこども達にこのダム現場を見せてほしい
No.3	司会の江崎さんお疲れ様でした。無事雨も降らず全行程完了できてよかったと思ってます。
No.4	周辺の棚田の稲もこうべを垂れ始めており、綺麗でした。 時間に余裕があれば、ダムと関連した観光地にちょっと立ち寄れると良いですかねˆ_ˆ
No.5	堤体打設時の現場を見て見たいので、引き続き現場見学会を開催して欲しい。
No.7	ダム技術の継承が重要であることが再認識でき有意義でした。
No.12	広島県からの参加でしたが広島駅集合のこのような見学会があればいいなと思いました。 個人的には岡山県の河本ダムのような中空ダムの見学がしたいなと思っております。 中国地区ではこのような活動はされてないのでしょうか。
No.13	趣旨が違うのは分かってるのですが、近くの野岳湖で昼食もアリだったかもです。ダム便覧未掲載のアースダム（灌漑用水）なのですが、凄く歴史があるのです。野岳湖公園儀太夫記念館に行ってみると分かりますよ！ またまた趣旨は違うのですが、昼食会場（レストランいとう）から車で2～3分？ここに上水用で、関係者以外は立入禁止な便覧掲載物件があるのですよ、、、（池田ダム） ほぼ情報が無いダムなので、こんな団体が居るのに寄らない？寄れない？何か勿体ない様な気がしちゃいました。（管理は大村市？） んまぁ、あくまでも個人的な妄想？なのですが、ただただ見学会を開催されて頂けてる事に感謝なのであります。今回が3回目… また参加してみたいです。(￣^￣)ゞ
No.15	幹事を担当くださった江崎様、相原様に感謝申し上げます。
No.16	普段立ち入ることのできない施行中現場での見学会、今後も楽しみにしております。

5.1 アンケート結果の分析と今後の展望

アンケート結果によると、今年度のダム見学会参加者の内訳は、「ダム関係の民間企業」が 75%、「一般・大学」が 25%でした。また、ダム工学会の認知度については、「知っている」が 87%、「知らない」が 13%という結果でした。

見学会全体の満足度については、アンケート結果から概ね高い評価をいただいており、参加者の満足度は高かったものと考えます。

その一方で、募集開始後に定員に達し満員となったことから、本見学会に対する関心の高さがうかがえました。そのため、次回以降の現場見学会では、安全面や受入体制を考慮しながら、参加定員の拡大について検討する余地があると考えます。

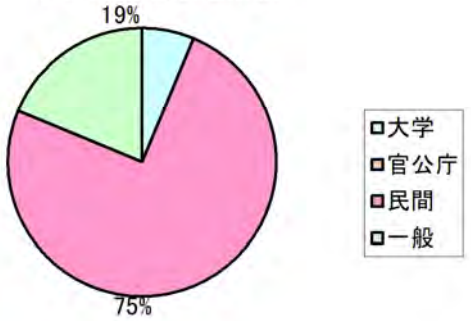
また、参加者の約４分の３をダム関係の民間企業が占めており、「一般・大学」の参加者は 25%に留まっていました。見学会の目的の一つであるダム事業やダム工学への理解促進、次世代人材の育成という観点からは、学生や一般の方々の参加をさらに増やしていくことが望ましいと考えます。

今後は、SNS やホームページなどを活用した広報活動の充実を図るとともに、大学への案内を積極的に実施するなど、より幅広い層へ情報発信を行うことが重要であると考えます。

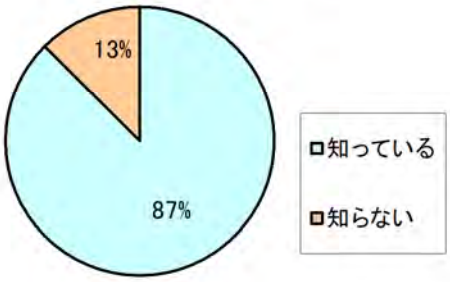
これらの取組により、一般の方々や学生の参加率向上を図り、ダム事業への理解促進やダム技術者の裾野拡大につなげていきたいと考えます。

「本明川ダム」ダム見学会に関するアンケート集計結果（16名分）

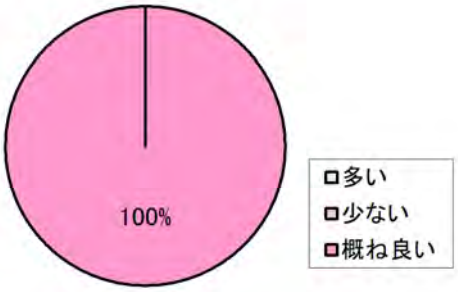
アンケート回答者所属



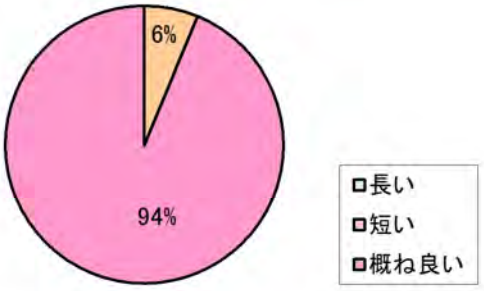
ダム工学会をご存知でしたか？



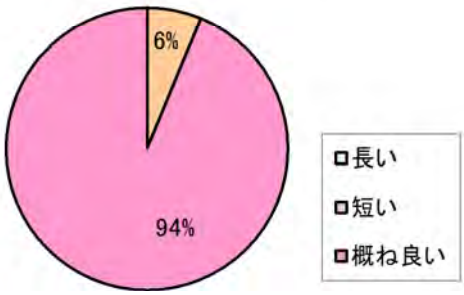
参加人数はどうでしたか



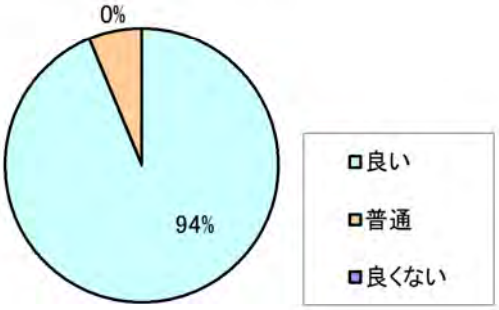
ダム見学会の時間配分について



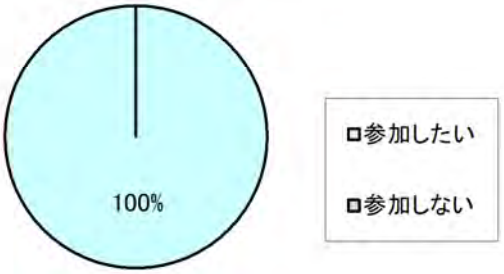
ダム見学会の移動時間について



本日のダム見学会全般について



今後の活動について
今後このようなイベントあれば・・・

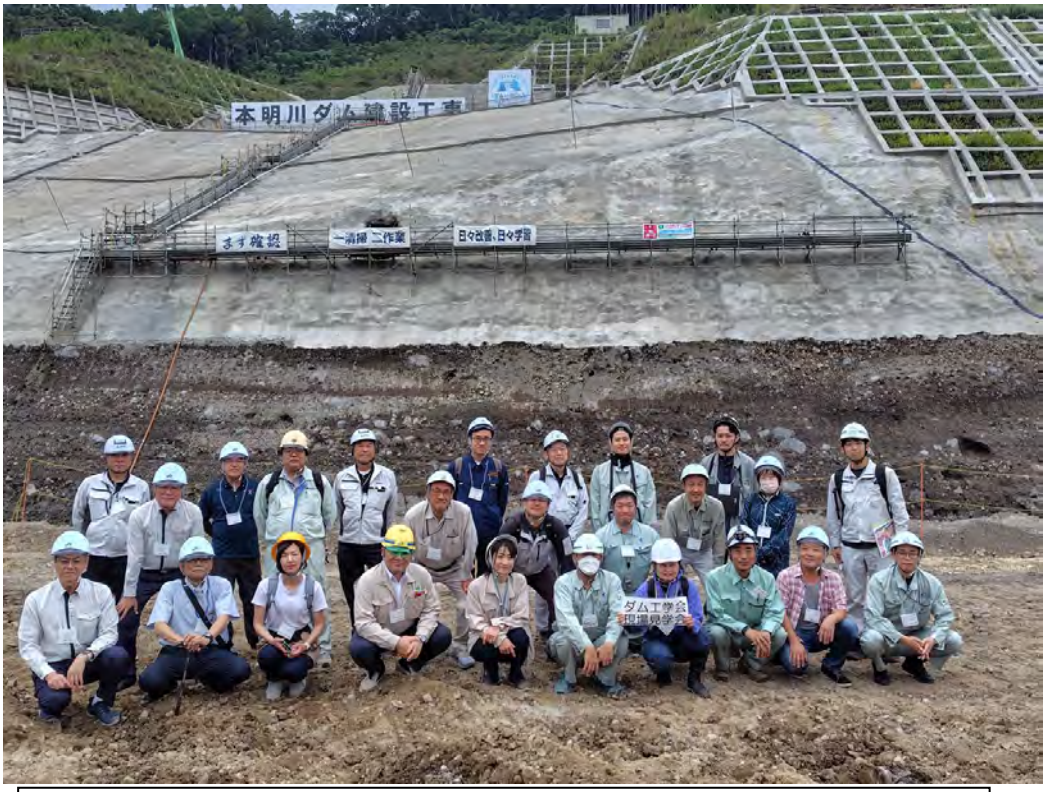


6.おわりに

今年度は、「本明川ダム」を見学するコースとしました。

スケジュールが押してしまったこと、また博多から本明川ダムへの長時間移動となってしまったことにより、参加者の方にはご負担をお掛けしましたが、参加頂いた方からは「普段立ち入ることのできない施工中の現場を見学できてよかった。」「とても貴重な経験をすることができました。」などの心温まるご意見を頂き、有意義な時間を過ごしていただけたかと思います。

ダム見学会に参加頂いた方々、ご協力頂きました本明川ダム管理所の方々、JV 様、広報館の皆様、その他関係者各位には厚く御礼申し上げる次第です。



ダム工学会九州地区連絡会
令和 8 年度「本明川ダム」ダム工事現場見学会

【集合写真撮影】